

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

U.S. PTO
09/883704
06/18/01

US
#2
MM
9-12-01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office

出願年月日
Date of Application: 2000年 6月19日

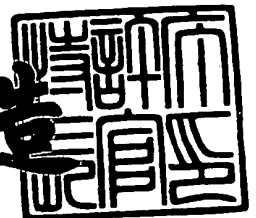
出願番号
Application Number: 特願2000-183654

出願人
Applicant(s): 日本電気株式会社

2001年 5月11日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3037500

【書類名】 特許願

【整理番号】 53400102

【提出日】 平成12年 6月19日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

 【氏名】 小黒 恒成

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100102864

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 工藤 実

【選任した代理人】

 【識別番号】 100099553

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 大村 雅生

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 053213

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9715177

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 チケットレスシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークで接続された発券センター、決済センター、および入場ゲートからなるネットワークシステムであって、

前記ネットワークに接続可能な第 1 のユーザ端末からの要求に応答して、前記発券センターから前記第 1 のユーザ端末へ複数の第 1 のデータを通知する第 1 の通知手段と、ここで、前記各第 1 のデータは、会場を示す会場データ、前記会場への入場日時を示す日時データ、前記会場へ入場するために必要な価格を示す価格データを含み、

前記第 1 のユーザ端末から、前記複数の第 1 のデータの中から選択された第 2 のデータ、前記第 1 のユーザ端末を識別するための第 3 のデータ、および前記第 1 のユーザ端末の所有者が決済を行うための口座を示す第 4 のデータを前記発券センターに通知する第 2 の通知手段と、

前記第 2 の通知手段で前記発券センターに通知された前記第 2 のデータに含まれる前記価格データと、前記第 4 のデータを前記決済センターに通知する第 3 の通知手段と、

前記決済センターによって、前記第 3 の通知手段で通知された前記価格データと前記第 4 のデータを用いて決済が行われる決済手段と、

前記決済手段によって決済が行われた後、前記第 2 のデータに含まれる前記日時データで示される前記会場への入場日時に、前記第 2 のデータに含まれる前記会場データで示される前記会場で、前記ネットワークに接続可能な第 2 のユーザ端末から前記第 2 のユーザ端末を識別するための第 5 のデータを前記発券センターに通知する第 4 の通知手段と、

前記第 5 のデータと前記第 3 のデータが一致する場合、前記第 2 のユーザ端末の所有者は前記第 2 のデータに含まれる前記会場データで示される前記会場に設置された前記入場ゲートの通過を許可される許可手段とからなる、

チケットレスシステム。

【請求項 2】 請求項 1 のチケットレスシステムにおいて、

前記第 4 のデータはクレジットカードの番号であり、

前記決済手段は、

前記クレジットカードの番号で示される口座から前記第 2 のデータに含まれる
前記価格データで示される金額の決済が行われる、

チケットレスシステム。

【請求項 3】 請求項 1 または 2 のチケットレスシステムにおいて、
前記許可手段は、

前記第 5 のデータと前記第 3 のデータが一致し、かつ前記第 5 のデータが前記
発券センターに通知された日時が前記日時データで示される日時である場合、前
記第 2 のユーザ端末の所持者は前記入場ゲートの通過を許可される、

チケットレスシステム。

【請求項 4】 請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載のチケットレスシステ
ムにおいて、

前記入場ゲートは複数個設けられており、

前記入場ゲート毎に異なるゲート電話番号が設定される設定手段をさらに含み

前記第 4 の通知手段は、

前記決済手段によって決済が行われた後、前記第 2 のデータに含まれる前記会
場データで示される前記会場で、前記第 2 のユーザ端末の前記所有者が通過を希
望する 1 つの前記入場ゲートに対応する前記ゲート電話番号へ前記第 2 のユーザ
端末を用いて発呼を行い、ここで、前記発呼に含まれる発呼信号には前記第 2 の
ユーザ端末を識別するための第 5 のデータが含まれており、

前記許可手段は、

前記第 5 のデータと前記第 3 のデータが一致する場合、前記第 2 のユーザ端末
の所持者は前記 1 つの入場ゲートの通過を許可される、

チケットレスシステム。

【請求項 5】 請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載のチケットレスシステ
ムにおいて、

前記第 3 のデータは、前記第 1 のユーザ端末の電話番号からなり、

前記第 5 のデータは、前記第 2 のユーザ端末の電話番号からなる、
チケットレスシステム。

【請求項 6】 ネットワークで接続された発券センター、決済センター、および入場ゲートからなるネットワークシステムにおいて、

(a) 前記ネットワークに接続可能な第 1 のユーザ端末からの要求に応答して、前記発券センターから前記第 1 のユーザ端末へ複数の第 1 のデータを通知するステップと、ここで、前記各第 1 のデータは、会場を示す会場データ、前記会場への入場日時を示す日時データ、前記会場へ入場するために必要な価格を示す価格データを含み、

(b) 前記第 1 のユーザ端末から、前記複数の第 1 のデータから選択された第 2 のデータ、前記第 1 のユーザ端末を識別するための第 3 のデータ、および前記第 1 のユーザ端末の所有者が決済を行うための口座を示す第 4 のデータを前記発券センターに通知するステップと、

(c) 前記 (b) ステップで通知された前記第 2 のデータに含まれる前記価格データと、前記第 4 のデータを前記決済センターに通知するステップと、

(d) 前記 (c) ステップで通知された前記第 2 のデータに含まれる前記価格データと、前記第 4 のデータを用いて決済を行うステップと、

(e) 前記第 2 のデータに含まれる前記会場データで示される前記会場に前記入場ゲートを設置するステップと、

(f) 前記 (d) ステップの実行後、前記第 2 のデータに含まれる前記日時データで示される前記会場への入場日時に、前記第 2 のデータに含まれる前記会場データで示される前記会場で、前記ネットワークに接続可能な第 2 のユーザ端末から前記第 2 のユーザ端末を識別するための第 5 のデータを前記発券センターに通知するステップと、

(g) 前記第 5 のデータと前記第 3 のデータが一致する場合、前記第 2 のユーザ端末の所有者は前記 (e) ステップで設置された前記入場ゲートの通過を許可されるステップと、

からなるチケットレス入場許可方法。

【請求項 7】 請求項 6 のチケットレス入場許可方法において、

前記第 3 のデータはクレジットカードの番号であり、

前記 (d) ステップは、

前記 (c) ステップで通知された前記クレジットカードの番号で示される口座で、前記 (c) ステップで通知された前記価格データで示される金額の決済を行うステップからなる、

チケットレス入場許可方法。

【請求項 8】 請求項 6 または 7 のチケットレス入場許可方法において、

前記 (g) ステップは、

前記第 5 のデータと前記第 3 のデータが一致し、かつ前記 (f) ステップが実行された時が前記日時データで示される日時に含まれる場合、前記第 2 のユーザ端末の所持者は前記会場への入場を許可されるステップとからなる、

チケットレス入場許可方法。

【請求項 9】 請求項 6 から 8 のいずれか 1 項に記載のチケットレス入場許可方法において、

前記 (e) ステップは、

(h) 前記第 2 のデータに含まれる前記会場データで示される前記会場に複数の前記入場ゲートを設置するステップと、

(i) 設置された前記各入場ゲートに異なる電話番号を示す電話番号データが設定されるステップとをさらに含み、

前記 (f) ステップは、

前記 (d) ステップ実行後、前記第 2 のデータに含まれる前記会場データで示される前記会場で、前記ネットワークに接続可能な第 2 のユーザ端末の所有者が通過を希望する 1 つの前記入場ゲートに設定された前記ゲート電話番号に対して前記第 2 ユーザ端末を用いて発呼を行い、ここで、前記発呼に含まれる発呼信号には前記ユーザ端末を識別するための第 5 のデータが含まれており、

前記 (g) ステップは、

前記第 5 のデータと前記第 4 のデータが一致する場合、前記第 2 のユーザ端末の所有者は前記 1 つの入場ゲートの通過を許可されるステップとからなる、

チケットレス入場許可方法。

【請求項 1 0】 請求項 6 から 9 のいずれか 1 項に記載のチケットレス入場許可方法において、

前記第 3 のデータは、前記第 1 のユーザ端末の電話番号からなり、

前記第 5 のデータは、前記第 2 のユーザ端末の電話番号からなる、

チケットレス入場許可方法。

【請求項 1 1】 ネットワークで接続された発券センター、決済センター、および入場ゲートからなり、

前記発券センターは、

前記ネットワークに接続可能なユーザ端末からの要求に応答して、前記ユーザ端末へ複数の第 1 のデータを通知する第 1 の通知手段と、ここで、前記各第 1 のデータは、会場を示す会場データ、前記会場への入場日時を示す日時データ、前記会場へ入場するために必要な価格を示す価格データを含み、

前記ユーザ端末から、前記複数の第 1 のデータの中から選択された第 2 のデータ、前記ユーザ端末を識別するための第 3 のデータ、および前記ユーザ端末の所有者が決済を行うための口座を示す第 4 のデータの通知を受ける第 2 の通知手段と、

前記第 2 の通知手段で通知された前記第 2 のデータに含まれる前記価格データと、前記第 4 のデータを前記決済センターに通知する第 3 の通知手段を有し、

前記決済センターは、

前記第 3 の通知手段で通知された前記価格データと前記第 4 のデータを用いて決済を行う決済手段を有し、

前記入場ゲートは、

前記第 2 のデータに含まれる前記日時データで示される前記会場への入場日時より前に、前記第 2 のデータに含まれる前記会場データで示される前記会場に設置されており、

データを入力可能な入力部と、

前記決済手段によって決済が行われた後であって、前記第 2 のデータに含まれる前記日時データで示される前記会場への入場日時に、前記ユーザ端末を識別するための第 5 のデータが前記入力装置から入力される入力手段と、

前記第 5 のデータと前記第 3 のデータが一致する場合、前記第 5 のデータの入力者の通過を許可する許可手段とを有する、

チケットレスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、チケットレスシステムに関し、さらに詳しくは携帯電話や携帯情報端末のような移動端末を利用したチケットレスシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年、携帯電話や携帯情報端末のような移動端末が用いられている。この移動端末の中には、データ通信を可能とするもの、およびインターネットに接続可能なものも普及している。

【0003】

また、近年インターネットのようなネットワークを用いて、商品のオンラインショッピングが行われている。この従来行われているオンラインショッピングを用いたチケットの販売方法を以下に示す。ここで販売されるチケットはコンサート会場や競技場のような会場への入場許可証であり、このチケットによって、その所持者は会場へ入場することが可能な日時を指定される。

【0004】

まず、注文者はネットワークを通じてチケットを注文する。このとき、その注文者はそのチケットが送付されるべき住所を指定する。次に、その注文されたチケットは郵便や宅配便のような配送手段を用いてその注文者が指定した住所に配送される。

【0005】

図 10 は、従来技術によるネットワークを用いたチケット販売システムを示す。

【0006】

インターネットのようなネットワーク X を介して、ユーザ端末 101、発券セ

ンター端末 1 0 2 およびクレジット会社端末 1 0 3 とが互いに接続されている。

【 0 0 0 7 】

ユーザ端末 1 0 1 は、携帯電話や携帯情報端末のような移動端末からなる。ユーザ端末 1 0 1 は、ネットワーク X に接続可能な図示しない基地局と無線通信を行うことによって、ネットワーク X に接続することが可能である。

【 0 0 0 8 】

発券センター端末 1 0 2 は、チケットを販売する発券センターに設けられている。発券センター端末 1 0 2 は、チケットを販売するために設けられたホームページを有する。

【 0 0 0 9 】

クレジット会社端末 1 0 3 は、発券センターで発券されたチケットの決済を行うクレジット会社に設けられている。

【 0 0 1 0 】

次に、従来技術によるネットワークを用いたチケットの販売方法を以下に示す。

【 0 0 1 1 】

まず、チケット注文者は、ユーザ端末 1 0 1 を用いて、発券センター端末 1 0 2 のホームページにアクセスする。チケット注文者は、このホームページを参照して注文したいチケットを決定すると、ユーザ端末 1 0 1 の画面（図示せず）を用いてそのチケットの注文を行う。そのとき、チケット注文者は、そのチケットを受け取る場所を示す住所をユーザ端末 1 0 1 の画面を用いて指定する。

【 0 0 1 2 】

次に、チケットの注文を受けた発券センター端末 1 0 2 は、その注文者によって指定されたチケットの支払決済を行うようにクレジット会社端末 1 0 3 に指示する。クレジット会社端末 1 0 3 は、上記支払決済の指示に応答して、注文者の与信確認を行う。クレジット会社端末 1 0 3 は、この注文者の与信情報に問題が無ければ発券センター端末 1 0 2 に決済可能を示す情報を送信する。

【 0 0 1 3 】

発券センター端末 1 0 2 は、クレジット会社端末 1 0 3 からの決済可能を示す

情報を受けて、チケット注文者が注文したチケットを発行する。そのチケットは郵便や宅配便のような配送手段を用いてその注文者が指定した住所に配送される。

【0014】

チケット注文者は、そのチケットによって定められた日時に会場へ行き、その会場へ入場時にそのチケットを用いた入場確認を受けることによって、その会場へ入場することができる。

【0015】

上記に示す従来技術によるネットワークを用いたチケットの販売システムでは、注文を受けたチケットは発券され、注文者に送付されていた。また、チケット注文者は、会場への入場時にその発券されたチケットを提示する必要があった。

【0016】

チケットのペーパーレスを可能にするシステムが望まれている。

【0017】

また、チケット注文者は、チケットの発券を受けることなくチケット注文者によって定められた日時に会場で入場許可を受けることができるシステムが望まれている。

【0018】

【発明が解決しようとする課題】

本発明の目的は、チケットを使用することなくユーザによって指定された日時にユーザによって指定された会場へのユーザの入場が許可されるチケットレスシステム、チケットレスを可能にする販売方法を提供する。

【0019】

本発明の目的は、チケット注文者は、チケットの発券を受けることなくチケット注文者によって定められた日時に会場への入場許可を受けることができるチケットレスシステムを提供する。

【0020】

【課題を解決するための手段】

その課題を解決するための手段が、下記のように表現される。その表現中の請

求項対応の技術的事項には、括弧（）付きで、番号、記号等が添記されている。その番号、記号等は、請求項対応の技術的事項と実施の複数・形態のうち少なくとも1つの技術的事項との一致・対応関係を明白にしているが、その請求項対応の技術的事項が実施の形態の技術的事項に限定されることを示すためのものではない。

【0021】

上記の課題を解決するために、本発明によると、ネットワーク（X）で接続された発券センター（3）、決済センター（4）、および入場ゲート（5）からなるネットワークシステムであって、ネットワークに接続可能な第1のユーザ端末（1）からの要求に応答して、発券センター（3）から第1のユーザ端末（1）へ複数の第1のデータを通知する第1の通知手段と、ここで、各第1のデータは、会場を示す会場データ、会場への入場日時を示す日時データ、会場へ入場するために必要な価格を示す価格データを含み、第1のユーザ端末（1）から、複数の第1のデータの中から選択された第2のデータ、第1のユーザ端末（1）を識別するための第3のデータ、および第1のユーザ端末（1）の所有者が決済を行うための口座を示す第4のデータを発券センター（3）に通知する第2の通知手段と、上記第2の通知手段で発券センター（3）に通知された第2のデータに含まれる価格データと、第4のデータを決済センター（4）に通知する第3の通知手段と、決済センター（4）によって、上記第3の通知手段で通知された価格データと第4のデータを用いて決済が行われる決済手段と、上記決済手段によって決済が行われた後、第2のデータに含まれる日時データで示される会場への入場日時に、第2のデータに含まれる会場データで示される会場で、ネットワーク（X）に接続可能な第2のユーザ端末（1）から第2のユーザ端末（1）を識別するための第5のデータを発券センター（3）に通知する第4の通知手段と、第5のデータと第3のデータが一致する場合、第2のユーザ端末の所有者は第2のデータに含まれる会場データで示される会場に設置された入場ゲート（5）の通過を許可される許可手段とからなるチケットレスシステムを提供する。

【0022】

上記のチケットレスシステムにおいて、第4のデータはクレジットカードの番

号であり、上記決済手段では、このクレジットカードの番号で示される口座から第2のデータに含まれる価格データで示される金額の決済が行われることも可能である。

【0023】

上記のチケットレスシステムにおいて、上記許可手段では、第5のデータと第3のデータが一致し、かつ第5のデータが発券センターに通知された日時が日時データで示される日時である場合、第2のユーザ端末の所持者は入場ゲートの通過を許可されることも可能である。

【0024】

上記のチケットレスシステムにおいて、入場ゲートは複数個設けられており、入場ゲート毎に異なるゲート電話番号が設定される設定手段をさらに含み、上記第4の通知手段は、上記決済手段によって決済が行われた後、第2のデータに含まれる会場データで示される会場で、第2のユーザ端末の所有者が通過を希望する1つの入場ゲートに対応するゲート電話番号へ第2のユーザ端末を用いて発呼を行い、ここで、発呼に含まれる発呼信号には第2のユーザ端末を識別するための第5のデータが含まれており、上記許可手段は、第5のデータと第3のデータが一致する場合、第2のユーザ端末の所持者は1つの入場ゲートの通過を許可されることも可能である。

【0025】

上記のチケットレスシステムにおいて、第3のデータは、第1のユーザ端末の電話番号からなり、第5のデータは、第2のユーザ端末の電話番号からなることも可能である。

【0026】

また、上記の課題を解決するために、本発明によると、ネットワークで接続された発券センター、決済センター、および入場ゲートからなるネットワークシステムで用いられるチケットレス入場許可方法において、(a) ネットワークに接続可能な第1のユーザ端末からの要求に応答して、発券センターから第1のユーザ端末へ複数の第1のデータを通知するステップと、ここで、各第1のデータは、会場を示す会場データ、会場への入場日時を示す日時データ、会場へ入場する

ために必要な価格を示す価格データを含み、(b) 第1のユーザ端末から、複数の第1のデータから選択された第2のデータ、第1のユーザ端末を識別するための第3のデータ、および第1のユーザ端末の所有者が決済を行うための口座を示す第4のデータを発券センターに通知するステップと、(c) 上記(b)ステップで通知された第2のデータに含まれる価格データと、第4のデータを決済センターに通知するステップと、(d) 上記(c)ステップで通知された第2のデータに含まれる価格データと、第4のデータを用いて決済を行うステップと、(e) 第2のデータに含まれる会場データで示される会場に入場ゲートを設置するステップと、(f) 上記(d)ステップの実行後、第2のデータに含まれる日時データで示される会場への入場日時に、第2のデータに含まれる会場データで示される会場で、ネットワークに接続可能な第2のユーザ端末から第2のユーザ端末を識別するための第5のデータを発券センターに通知するステップと、(g) 第5のデータと第3のデータが一致する場合、第2のユーザ端末の所有者は(e)ステップで設置された入場ゲートの通過を許可されるステップとからなるチケットレス入場許可方法を提供する。

【0027】

上記のチケットレス入場許可方法において、第3のデータはクレジットカードの番号であり、(d)ステップは、上記(c)ステップで通知されたクレジットカードの番号で示される口座で、上記(c)ステップで通知された価格データで示される金額の決済を行うステップからなることも可能である。

【0028】

上記のチケットレス入場許可方法において、(g)ステップは、第5のデータと第3のデータが一致し、かつ上記(f)ステップが実行された時が日時データで示される日時に含まれる場合、第2のユーザ端末の所持者は会場への入場を許可されるステップとからなることも可能である。

【0029】

上記のチケットレス入場許可方法において、(e)ステップは、(h) 第2のデータに含まれる会場データで示される会場に複数の入場ゲートを設置するステップと、(i) 設置された各入場ゲートに異なる電話番号を示す電話番号データ

が設定されるステップとをさらに含み、(f)ステップは、上記(d)ステップ実行後、第2のデータに含まれる会場データで示される会場で、ネットワークに接続可能な第2のユーザ端末の所有者が通過を希望する1つの入場ゲートに設定されたゲート電話番号に対して第2ユーザ端末を用いて発呼を行い、ここで、発呼に含まれる発呼信号にはユーザ端末を識別するための第5のデータが含まれており、(g)ステップは、第5のデータと第4のデータが一致する場合、第2のユーザ端末の所有者は1つの入場ゲートの通過を許可されるステップとからなることも可能である。

【0030】

上記のチケットレス入場許可方法において、第3のデータは、第1のユーザ端末の電話番号からなり、第5のデータは、第2のユーザ端末の電話番号からなることも可能である。

【0031】

さらにまた、上記の課題を解決するために、本発明によると、ネットワーク(X)で接続された発券センター(3)、決済センター(4)、および入場ゲート(5)からなり、発券センター(3)は、ネットワーク(X)に接続可能なユーザ端末(1)からの要求に応答して、ユーザ端末(1)へ複数の第1のデータを通知する第1の通知手段と、ここで、各第1のデータは、会場を示す会場データ、会場への入場日時を示す日時データ、会場へ入場するために必要な価格を示す価格データを含み、ユーザ端末(1)から、複数の第1のデータから選択された第2のデータ、ユーザ端末(1)を識別するための第3のデータ、およびユーザ端末(1)の所有者が決済を行うための口座を示す第4のデータの通知を受ける第2の通知手段と、第2の通知手段で通知された第2のデータに含まれる価格データと、第4のデータを決済センター(4)に通知する第3の通知手段を有し、決済センター(4)は、第3の通知手段で通知された価格データと第4のデータを用いて決済を行う決済手段を有し、入場ゲート(5)は、第2のデータに含まれる日時データで示される会場への入場日時より前に、第2のデータに含まれる会場データで示される会場に設置されており、データを入力可能な入力部と、決済手段によって決済が行われた後であって、第2のデータに含まれる日時データ

で示される会場への入場日時に、ユーザ端末（１）を識別するための第５のデータが入力装置から入力される入力手段と、第５のデータと第３のデータが一致する場合、第５のデータの入力者の通過を許可する許可手段とを有するチケットレスシステムを提供する。

【 0 0 3 2 】

【発明の実施の形態】

以下図面を参照して、本発明におけるチケットレスシステムを示す。本発明におけるチケットレスシステムは、コンサート会場、野球やサッカーの試合を行う競技場、見本市会場および展示場のような、入場するために費用が必要であり、入場日時が規定された会場への入場を行うシステムに適用している。

【 0 0 3 3 】

図１を参照すると、本発明におけるチケットレスシステムは、インターネットのようなネットワークＸを介して接続されているユーザ端末１、発券センター端末３、クレジット会社端末４および入場ゲート端末５からなる。

【 0 0 3 4 】

ユーザ端末１は、携帯電話や携帯情報端末のような移動端末からなる。ユーザ端末１は、ネットワークＸに接続可能な基地局２と無線通信（データ通信）を行うことによって、ネットワークＸに接続することが可能である。

【 0 0 3 5 】

発券センター端末３は、チケットを販売するための発券センターに設けられている。発券センター端末３は、チケットを販売するためにチケット情報が登録されているホームページを有する。このホームページには、ネットワークＸを介して各種チケットの商品情報が掲載されている。この商品情報は、各種スポーツ、コンサートチケット、見本市のようなイベントに関する情報であって、そのイベントの名称、そのイベントの開催日時、そのイベントが開催される会場での座席位置、価格などを含む。

【 0 0 3 6 】

クレジット会社端末４は、発券センターで発券されたチケットの決済を行うクレジット会社に設けられている。ここで、クレジット会社端末４の配置は、決済

可能な金融機関であればクレジット会社に限定されない。

【 0 0 3 7 】

入場ゲート端末 5 は、コンサート会場、野球やサッカーの試合を行う競技場、見本市会場および展示場のような会場の入場地点に設けられる。入場ゲート端末 5 は、駅自動改札機のような形状の装置である。入場ゲート端末 5 は入場口と出場口を有し、その入場口と出場口との間には、両側に側方部材を有する。その側方部材の間は、実質的にひとりの大人のみ通過可能の幅を有する。出場口には開閉可能な門が設けられている。この門が閉じられている場合、人は出場口を通過することができない。この門は、ユーザ端末 1 からの発呼信号に含まれるユーザ端末 1 の電話番号に基づいて開閉される。

【 0 0 3 8 】

次に、本発明におけるチケットレスシステムのチケットレス入場許可方法を以下に示す。

【 0 0 3 9 】

まず、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法を以下に示す。

【 0 0 4 0 】

図 2 は、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法を示すフロー図である。

【 0 0 4 1 】

図 2 を参照すると、ステップ A 1 で、本システム利用者はユーザ端末 1 を利用してネットワーク X を介して発券センター端末 3 の開設しているホームページへとアクセスを行う。

【 0 0 4 2 】

ステップ A 2 で、発券センター端末 3 は、そのユーザ端末 1 へ複数のチケットデータを送信する。ここで、各チケットデータは、競技場やコンサート会場のような会場、その会場への入場日時、その会場に入場するための価格を示すデータを含む。

【 0 0 4 3 】

ステップ A 3 で、ユーザ端末 1 には、図 3 で示される、名称 1 1、商品番号 1

2、価格13、購入希望の有無を示すチェックバー14からなる各種チケットデータの内容が画面に表示される。

【0044】

ステップA4で、本システム利用者は、ユーザー端末1の画面に表示された各種チケットデータの内容を見て、購入を希望する商品のチェックバー14を画面上でチェックする。図3では、本システム利用者は、名称が”Jリーグ〇〇vs△△”(11a)、商品番号が”xxxx”(12a)、および価格が”S席¥5,000”(13b)で示される商品の購入を希望するチェックバー14bをチェックする。上記の操作によって示される、本システム利用者が購入を希望する商品を示すチケットデータは注文データとして一時的にユーザー端末1に蓄えられる。

【0045】

次に、本システム利用者は、図3の画面上の”次へ”と記載されているボタン15にカーソルを位置付ける。すると、図4に示されるように、ユーザー端末1の表示画面は、注文した商品の代金を支払うためのクレジットカードのカード番号16、その有効期限17、および会場への入場日に携帯するユーザー端末の電話番号18を入力するための入力画面を表示する。本システム利用者は、この入力画面を利用してカード番号16と電話番号18を入力する。入力されたカード番号16と電話番号18は一時的にユーザー端末1に蓄えられる。

【0046】

ステップA5で、ユーザー端末1に蓄えられた注文データ、カード番号16および電話番号18は、本システム利用者が”送信”を示すボタン19にカーソルを合わせて送信キーを押下することによって、発券センター端末3にインターネットXを介して送信される。

【0047】

ステップA6で、発券センター端末3は、注文データ、カード番号16および電話番号18を受信する。ステップA7で、発券センター端末3は、注文データを用いてカード番号16と価格13を含む決済確認情報を生成し、その決済確認情報をクレジット会社端末4に送信する。ステップA8で、クレジット会社端末

4 は、決済確認情報を受信する。

【 0 0 4 8 】

ステップ A 9 で、クレジット会社端末 4 は、受信した決済確認情報に含まれるカード番号 1 6 からそのカード番号 1 6 に対応する口座の与信情報を参照して、その価格 1 3 をカード番号 1 6 に対応する口座で決済可能かどうかを調べる。クレジット会社端末 4 は、その口座で決済可能であると判断した場合、ステップ A 1 0 を実行する。また、クレジット会社端末 4 は、その口座で決済不可能であると判断した場合、ステップ A 1 5 を実行する。

【 0 0 4 9 】

ステップ A 1 0 で、クレジット会社端末 4 は、注文データに含まれる価格 1 3 の決済をカード番号 1 6 で示される口座で行う。この決済が終了すると、クレジット会社端末 4 は、カード番号 1 6 で示される口座で注文データで示される商品の決済が完了したことを示す決済完了情報を発券センター端末 3 に発信する。

【 0 0 5 0 】

ステップ A 1 1 で、発券センター端末 3 は、この決済完了情報を受信する。ステップ A 1 2 で、発券センター端末 3 は、ステップ A 6 で受信した電話番号 1 8 を発券センター端末 3 に接続されているデータベース（図示せず）に登録する。

【 0 0 5 1 】

ステップ A 1 3 で、発券センター端末 3 は、ステップ A 6 で受信した注文データを用いて、発券センター端末 3 に接続されている空き座席データベース（図示せず）を参照して取得した座席番号と会場への入場日にユーザー端末から発信されるべき呼出番号を生成する。

【 0 0 5 2 】

ステップ A 1 4 で、発券センター端末 3 は、ユーザー端末 1 に対しその座席番号と呼出番号を示すデータを送信する。上記の過程を経て、本システム利用者による商品の注文が完了する。

【 0 0 5 3 】

ステップ A 1 5 で、クレジット会社端末 4 は、カード番号 1 6 で示される口座では注文データで示される商品の決済を行うことが不可能であることを示す決済

不能情報を発券センター端末 3 に発信する。

【 0 0 5 4 】

ステップ A 1 6 で、発券センター端末 3 は、クレジット会社端末 4 からの決済不能情報の通知を受けて、ユーザ端末 1 にその商品の購入が不可能であることを通知する。同時に、発券センター端末 3 は、ステップ A 6 で受信した注文データ、カード番号 1 6 および電話番号 1 8 を発券センター端末 3 から消去する。

【 0 0 5 5 】

ステップ A 1 7 で、ユーザ端末 1 は発券センター端末 3 からの購入不可を示す通知を受ける。ステップ A 1 6 以下の動作によって、本システム利用者による商品の注文が拒絶される。

【 0 0 5 6 】

次に、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法を以下に示す。

【 0 0 5 7 】

まず、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 1 の実施形態を以下に示す。

【 0 0 5 8 】

図 5 は、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 1 の実施形態を示すフロー図である。本実施形態では、上記に示される本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法で、本システム利用者による商品の注文が完了している場合に適用される。

【 0 0 5 9 】

図 5 を参照すると、ステップ B 1 で、本システム利用者は、会場への入場日、会場の入場ゲートに出向き、事前に通知されていた呼出番号で自らのユーザ端末 1 より発呼を行う。

【 0 0 6 0 】

ステップ B 2 で、発券センター端末 3 は、その呼出番号を用いて発呼を行ったユーザ端末 1 からの着呼を受ける。発券センター端末 3 は、その着呼に応答して、その発呼信号からユーザ端末 1 の電話番号を受信する。

【 0 0 6 1 】

ステップB3で、発券センター端末3は、ここで受信した電話番号と、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップA12で登録された電話番号18との比較する。発券センター端末3は、両者が合致している場合、ステップB4を実行する。発券センター端末3は、両者が異なる場合、動作を終了する。

【0062】

ステップB4で、発券センター端末3は入場ゲート端末5に開門指示情報を送信する。

【0063】

ステップB5で、入場ゲート端末19は、発券センター端末3からの開門指示情報を受け開門する。これにより、本システム利用者は、会場に入場することが可能となる。

【0064】

次に、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第2の実施形態を以下に示す。

【0065】

図6は、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第2の実施形態を示すフロー図である。本実施形態でも、上記に示される本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法で、本システム利用者による商品の注文が完了している場合に適用される。

【0066】

また、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第2の実施形態では、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップA13で、発券センター端末3は呼出番号を生成しない。また、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップA14で、発券センター端末3はユーザー端末1に呼出番号を送信しない。

【0067】

さらに、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第2の実施形態では、会場には複数の入場ゲート端末5が設けられている。各入場ゲート端末

5には個別に電話番号が割り振られている。各入場ゲート端末5は対応する電話番号を掲示するための掲示部材（図示せず）を有する。

【0068】

図6を参照すると、ステップC1で、本システム利用者は、会場への入場日、会場の入場ゲートに出向き、本システム利用者が入場を希望する入場ゲート端末5の掲示部材に掲示されている、入場ゲート端末に対応する電話番号で自らのユーザー端末1より発呼を行う。

【0069】

ステップC2で、発券センター端末3は、その入場を希望する入場ゲート端末5に対応する電話番号を用いて発呼を行ったユーザー端末1からの着呼を受ける。発券センター端末3は、その着呼に応答して、その発呼信号からユーザー端末1の電話番号を取得する。

【0070】

ステップC3で、発券センター端末3は、発呼信号から取得したユーザー端末1の電話番号と、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップA12で登録された電話番号18との比較する。発券センター端末3は、両者が合致している場合、ステップC4を実行する。発券センター端末3は、両者が異なる場合、動作を終了する。

【0071】

ステップC4で、発券センター端末3は、その入場を希望する入場ゲート端末5に開門指示情報を送信する。

【0072】

ステップC5で、その入場を希望する入場ゲート端末5は、発券センター端末3からの開門指示情報を受け開門する。これにより、本システム利用者は、その入場を希望する入場ゲート端末5を通して会場に入場することが可能となる。

【0073】

上記に示される、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第2の実施形態では、会場の入場ゲートに複数の入場ゲート端末を設け、各入場ゲート端末で本システム利用者の会場への入場を許可することが可能となる。

【 0 0 7 4 】

次に、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 3 の実施形態を以下に示す。

【 0 0 7 5 】

図 7 は、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 3 の実施形態を示すフロー図である。本実施形態でも、上記に示される本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法で、本システム利用者による商品の注文が完了している場合に適用される。

【 0 0 7 6 】

また、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 3 の実施形態では、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップ A 1 3 で発券センター端末 3 は呼出番号を生成しない。また、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップ A 1 4 で発券センター端末 3 はユーザー端末 1 に呼出番号を送信しない。

【 0 0 7 7 】

さらに、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 3 の実施形態では、会場には複数の入場ゲート端末 5 が設けられている。各入場ゲート端末 5 には個別に電話番号を入力するための入力装置（図示せず）が設けられている。

【 0 0 7 8 】

図 7 を参照すると、ステップ D 1 で、本システム利用者は、会場への入場日、会場の入場ゲートに出向き、本システム利用者が入場を希望する入場ゲート端末 5 の入力装置から、自らのユーザー端末 1 の電話番号を入力する。

【 0 0 7 9 】

ステップ D 2 で、発券センター端末 3 は、入力装置から入力された電話番号を取得する。

【 0 0 8 0 】

ステップ D 3 で、発券センター端末 3 は、入力装置から入力された電話番号と、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップ A 1 2 で登録

された電話番号 1 8 との比較する。発券センター端末 3 は、両者が合致している場合、ステップ D 4 を実行する。発券センター端末 3 は、両者が異なる場合、動作を終了する。

【 0 0 8 1 】

ステップ D 4 で、発券センター端末 3 は、その入場を希望する入場ゲート端末 5 に開門指示情報を送信する。

【 0 0 8 2 】

ステップ D 5 で、その入場を希望する入場ゲート端末 5 は、発券センター端末 3 からの開門指示情報を受け開門する。これにより、本システム利用者は、その入場を希望する入場ゲート端末 5 を通って会場に入場することが可能となる。

【 0 0 8 3 】

次に、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 4 の実施形態を以下に示す。

【 0 0 8 4 】

図 8 は、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 4 の実施形態を示すフロー図である。本実施形態でも、上記に示される本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法で、本システム利用者による商品の注文が完了している場合に適用される。

【 0 0 8 5 】

また、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 4 の実施形態では、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップ A 1 3 で発券センター端末 3 は呼出番号を生成しない。また、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップ A 1 4 で発券センター端末 3 はユーザー端末 1 に呼出番号を送信しない。

【 0 0 8 6 】

さらに、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 4 の実施形態では、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップ A 4 で、電話番号 1 8 が入力される代わりに、本システム利用者を識別するためのコードが入力される。それに伴い、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文

方法のステップ A 1 2 では、そのステップ A 4 で入力されたコードが登録される。

【 0 0 8 7 】

さらにまた、本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 3 の実施形態では、会場には複数の入場ゲート端末 5 が設けられている。各入場ゲート端末 5 には個別にコードを入力するための入力装置（図示せず）が設けられている。

【 0 0 8 8 】

図 8 を参照すると、ステップ E 1 で、本システム利用者は、会場への入場日、会場の入場ゲートに出向き、本システム利用者が入場を希望する入場ゲート端末 5 の入力装置から、本システム利用者を識別するためのコードを入力する。

【 0 0 8 9 】

ステップ E 2 で、発券センター端末 3 は、入力装置から入力されたコードを取得する。

【 0 0 9 0 】

ステップ E 3 で、発券センター端末 3 は、入力装置から入力されたコードと、本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップ A 1 2 で登録されたコードとの比較する。発券センター端末 3 は、両者が合致している場合、ステップ E 4 を実行する。発券センター端末 3 は、両者が異なる場合、動作を終了する。

【 0 0 9 1 】

ステップ E 4 で、発券センター端末 3 はその入場を希望する入場ゲート端末 5 に開門指示情報を送信する。

【 0 0 9 2 】

ステップ E 5 で、その入場を希望する入場ゲート端末 5 は、発券センター端末 3 からの開門指示情報を受け開門する。これにより、本システム利用者は、その入場を希望する入場ゲート端末 5 を通って会場に入場することが可能となる。

【 0 0 9 3 】

次に、本発明におけるチケットレスシステムでの商品のキャンセル方法を以下

に示す。

【0094】

図9は、本発明におけるチケットレスシステムでの商品のキャンセル方法を示すフロー図である。本実施形態では、上記に示される本発明におけるチケットレスシステムの商品予約方法で、本システム利用者による商品の注文が完了している場合に適用される。

【0095】

図9を参照すると、ステップF1で、本システム利用者は、ユーザー端末1を用いて商品のキャンセルを指示するキャンセル指示情報を発券センター端末3へ発信する。このキャンセル指示情報には、キャンセルする商品を示すキャンセル商品データが含まれる。

【0096】

ステップF2で、発券センター端末3はユーザー端末1からのキャンセル指示情報を受信する。

【0097】

ステップF3で、発券センター端末3は、本システム利用者に対して、そのキャンセルされる商品に対する本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップA7からA10で行われた決済処理のキャンセルを行うために、クレジット会社端末4に対し決済キャンセルを指示する。

【0098】

ステップF4で、クレジット会社端末30はその決済のキャンセルを行う。クレジット会社端末30はその決済のキャンセルが完了すると、決済キャンセルが完了したことを示すキャンセル完了情報を発券センター端末3に通知する。

【0099】

ステップF5で、発券センター端末3は本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法のステップA13でデータベースに登録されたユーザー端末1の端末番号を削除する。

【0100】

ステップF6で、発券センター端末3は、キャンセル完了情報を受け次第、ユ

ーザー端末 1 に対しキャンセルを確認したことを示す情報を発信する。上記の過程を経て、本システム利用者による商品のキャンセルが完了する。

【0 1 0 1】

上記に示すように、本発明におけるチケットレスシステムでは、本システム利用者はインターネット接続可能な携帯電話をもっていれば、チケットを授受したり持ち歩く必要無く希望する会場に入場できる。その理由は、本発明におけるチケットレスシステムでは、携帯電話それぞれに固有な電話番号を ID 番号とし、発呼すれば必ずその番号が送信されることを利用しているためである。

【0 1 0 2】

また、本発明におけるチケットレスシステムでは、発券センターは、商品の引き渡しと代金の決裁処理がインターネット上で行え、紙のチケット発券の必要が無い。

【0 1 0 3】

更に、本発明におけるチケットレスシステムでは、会場への入場確認に人手をかけることが不要となり、費用（人件費）の削減が実現できる。

【0 1 0 4】

【発明の効果】

本発明は、チケットを使用することなくユーザによって指定された日時にユーザによって指定された会場へのユーザの入場が許可されることを可能にするという効果を有する。

【0 1 0 5】

また、本発明は、商品の引き渡しと代金の決裁処理がインターネット上で行え、紙のチケット発券の必要が無いという効果を有する。

【0 1 0 6】

更に、本発明は、会場への入場確認に人手をかけることが不要となり、費用（人件費）の削減が実現できるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明におけるチケットレスシステムの構成を示す。

【図 2】

本発明におけるチケットレスシステムの商品注文方法を示すフロー図である。

【図 3】

ユーザー端末の表示画面に表示される、各種チケットデータの内容を示す。

【図 4】

ユーザー端末の表示画面に表示される、注文した商品の代金を支払うためのクレジットカードのカード番号、その有効期限、および会場への入場日に携帯するユーザー端末の電話番号を入力するための入力画面を示す。

【図 5】

本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 1 の実施形態を示すフロー図である。

【図 6】

本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 2 の実施形態を示すフロー図である。

【図 7】

本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 3 の実施形態を示すフロー図である。

【図 8】

本発明におけるチケットレスシステムの入場許可方法の第 4 の実施形態を示すフロー図である。

【図 9】

本発明におけるチケットレスシステムでの商品のキャンセル方法を示すフロー図である。

【図 1 0】

従来技術によるネットワークを用いたチケット販売システムを示す。

【符号の説明】

- 1 ユーザー端末
- 2 基地局
- 3 発券センター端末

4 クレジット会社端末

5 入場ゲート端末

1 1 名称

1 2 商品番号

1 3 価格

1 4 チェックバー

1 5, 1 9 ボタン

1 6 カード番号

1 7 有効期限

1 8 電話番号

1 0 1 ユーザ端末

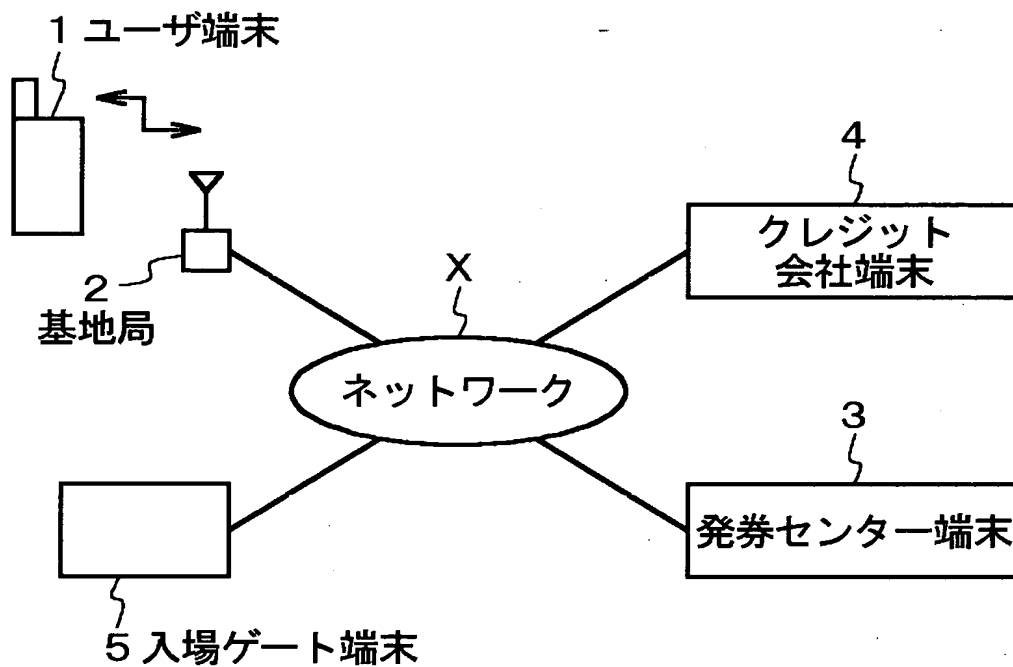
1 0 2 発券センター端末

1 0 3 クレジット会社端末

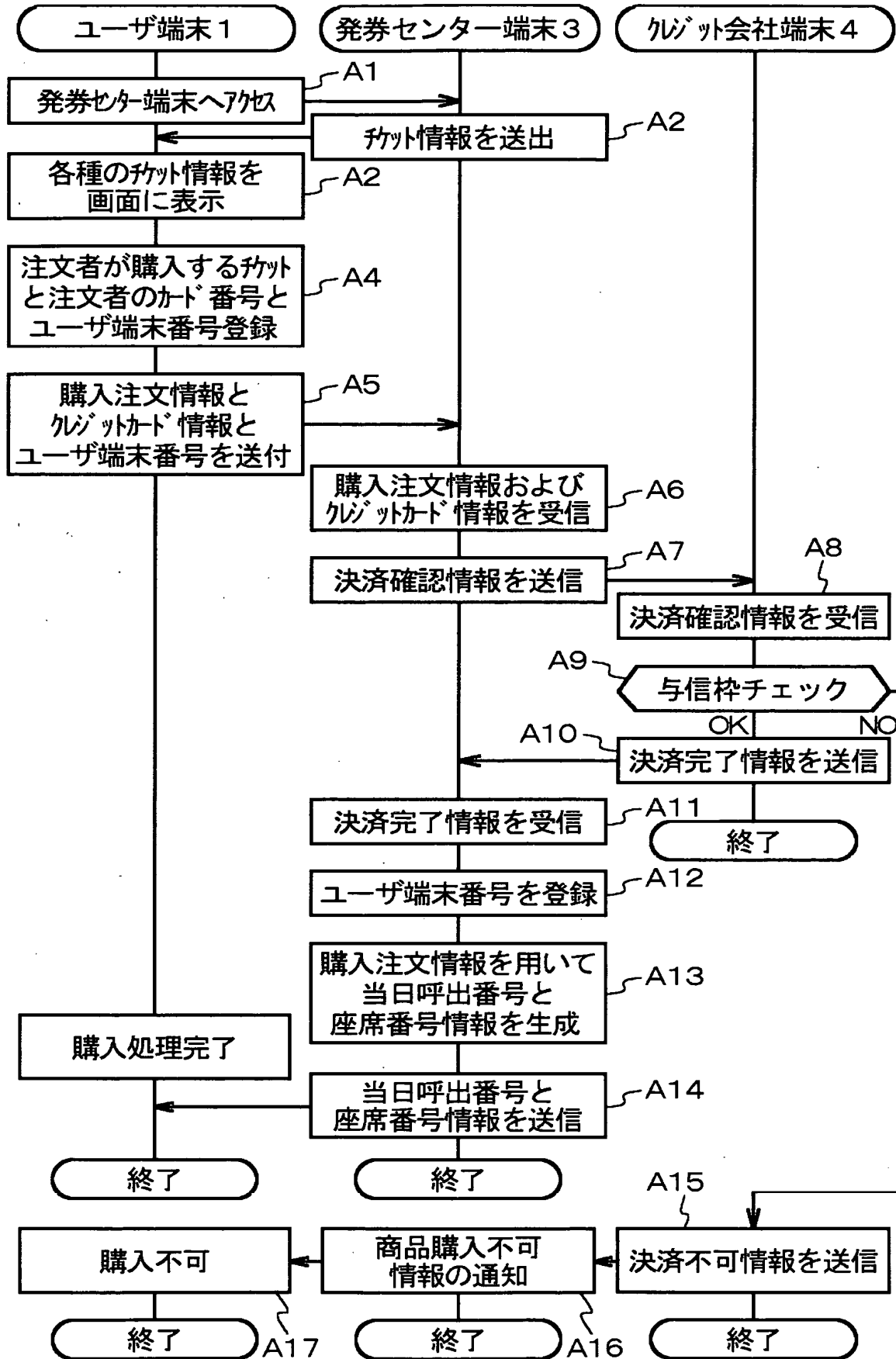
X ネットワーク

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



【図3】

11	12	13	14
名称	商品番号	価格	購入
11a Jリーグ〇〇VS△△ (A競技場)	12a xxx xxx	SS席 ¥8,000 S席 ¥5,000 A席 ¥3,000	13a □ ■ □ 14a 14b 14c
11b BBBコンサート (Bホール)	12b yyy yyy	SS席 ¥8,000 S席 ¥5,000 A席 ¥3,000	13c □ □ □ 13d 14a 14b 14c 13e 13f
			次へ
			15

【図 4】

あなたのカード番号は？

□□□□-□□□□-□□□□-□□□□ 16

有効期限は？

月 日 17

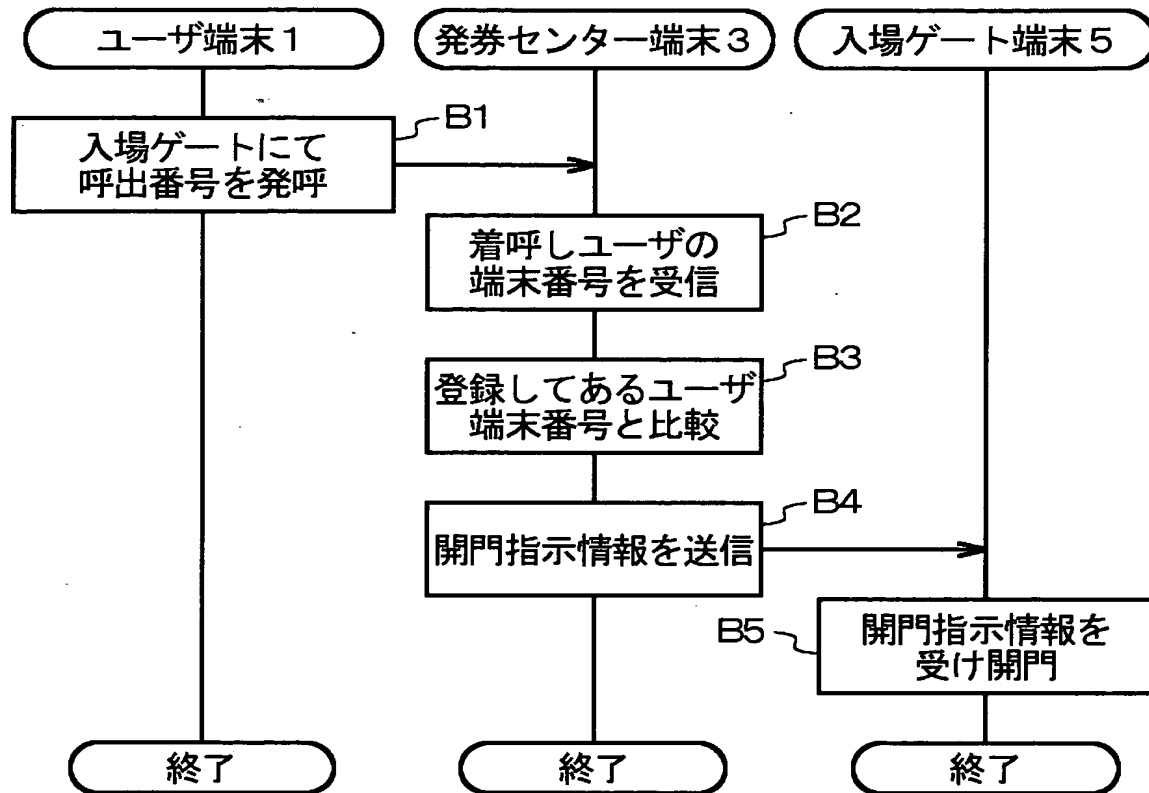
□□/□□

携帯電話番号は？

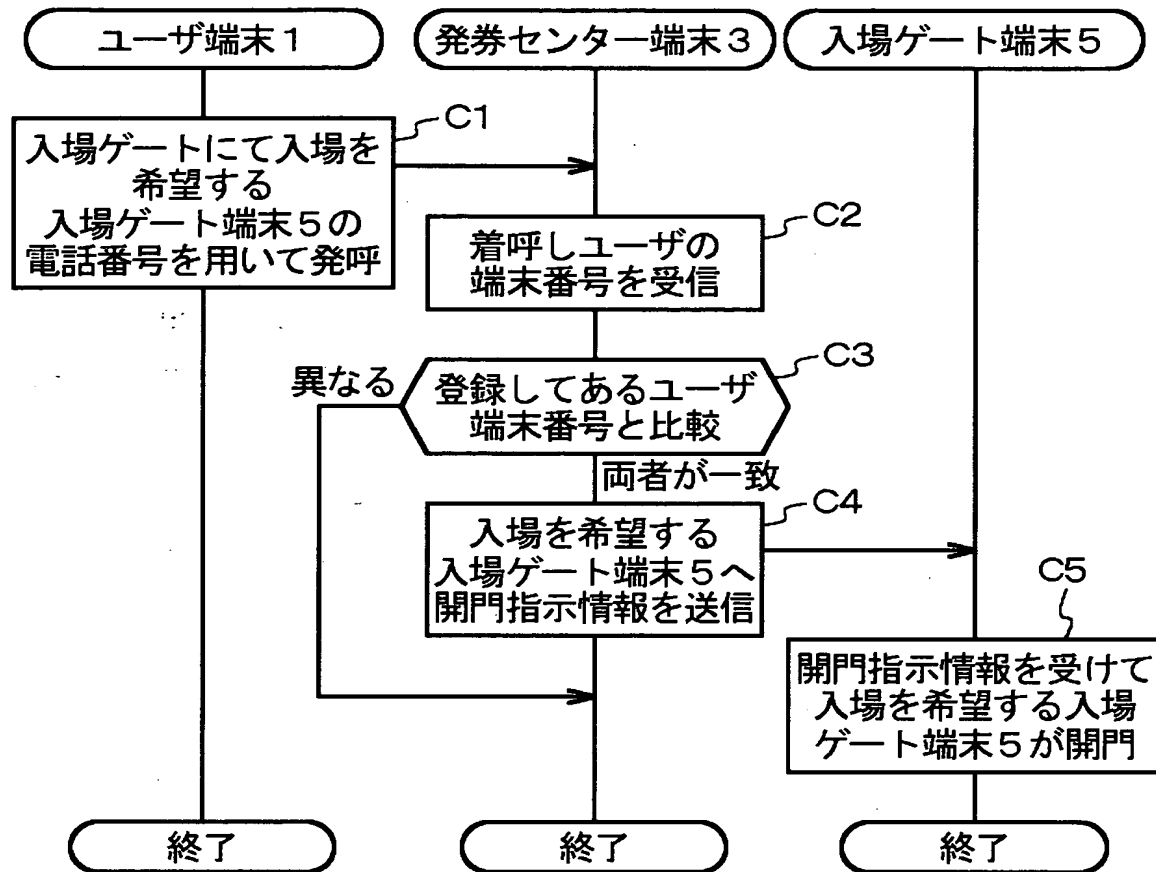
□□□-□□□□□□□□ 18

送信 19

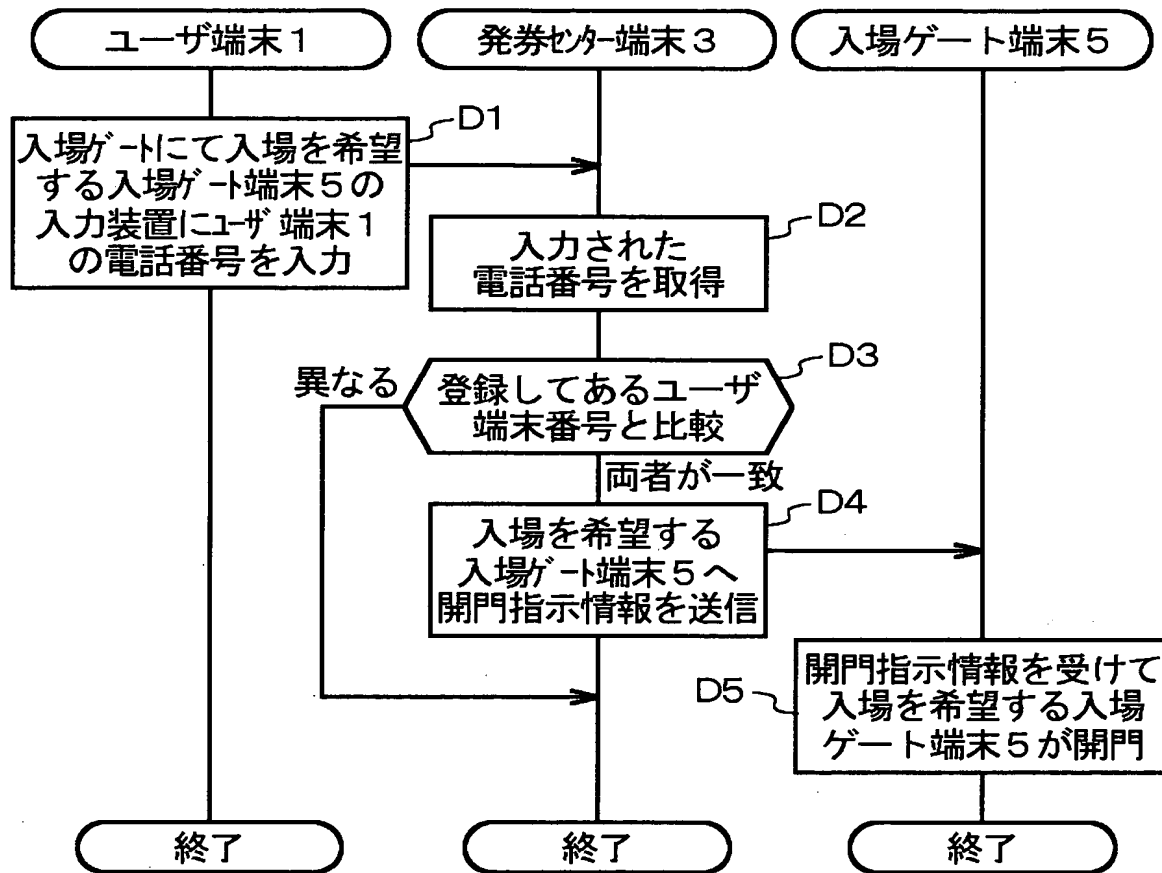
【図 5】



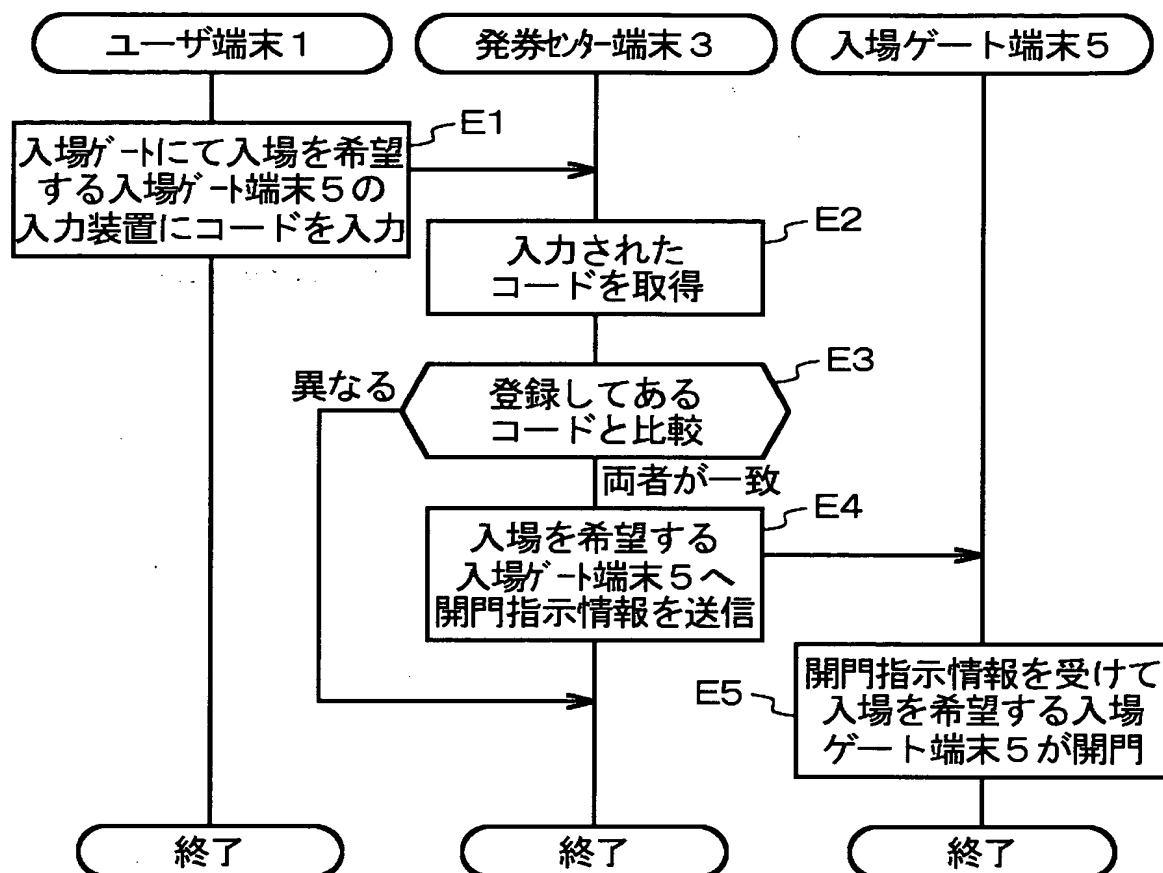
【図 6】



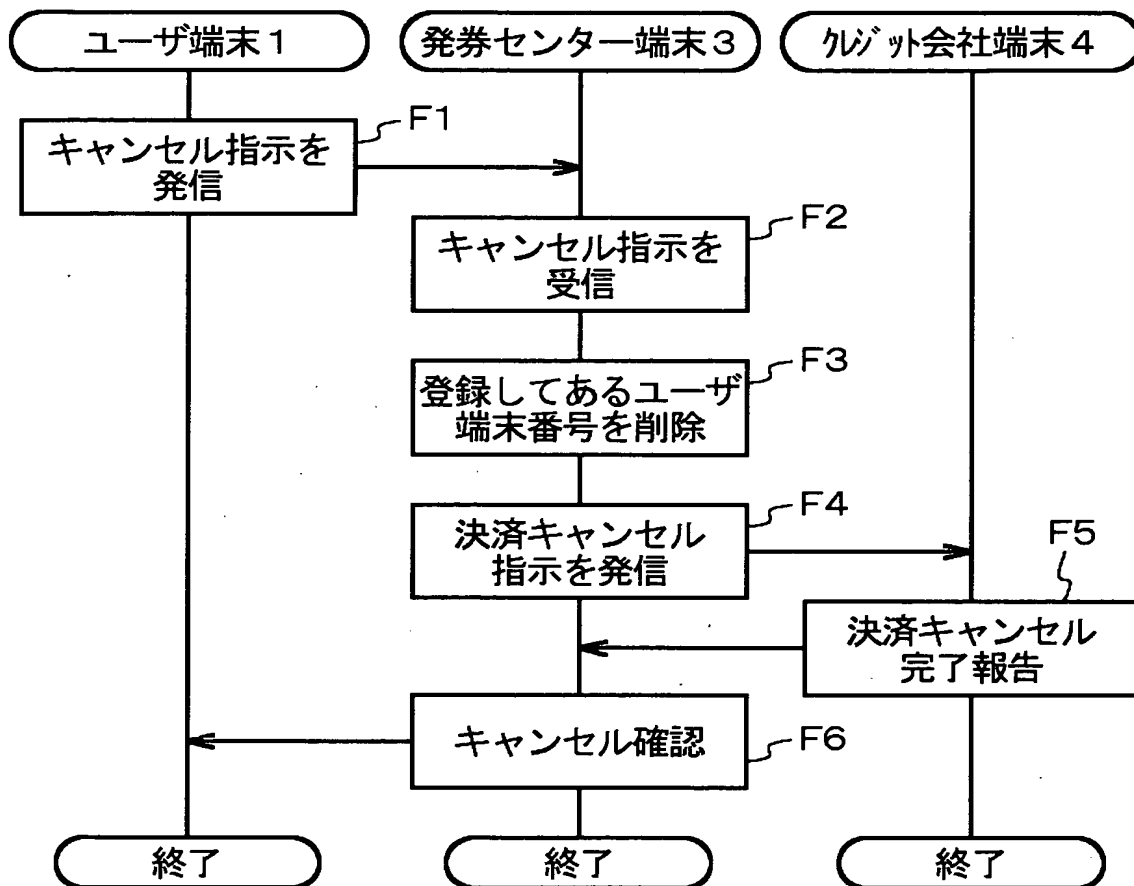
【図 7】



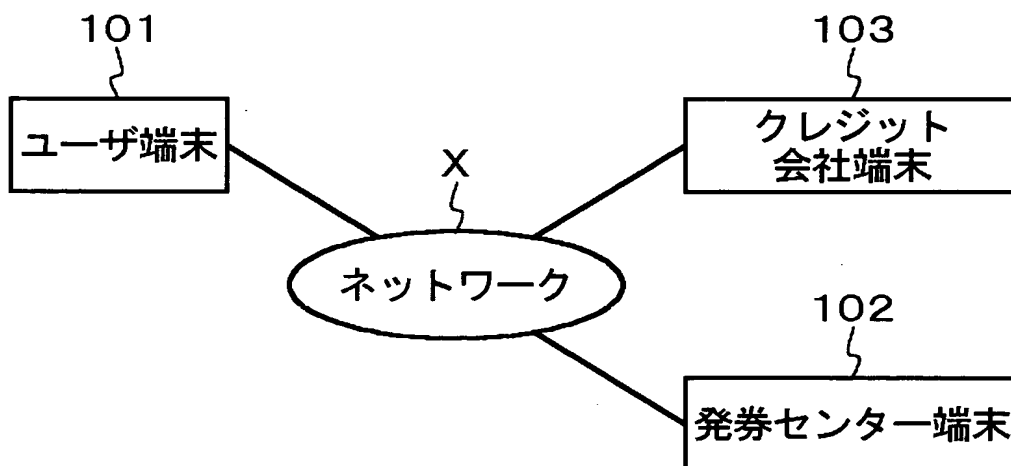
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 チケットのペーパーレスを可能にするシステムを提供する。

【解決手段】 ネットワークで接続された発券センター、決済センター、および入場ゲートからなるシステムを提供する。このシステムは、ネットワークに接続可能なユーザ端末からの要求に応答して、そのユーザ端末へ複数の第1のデータを通知する。ここで、各第1のデータは、会場、会場への入場日時、会場へ入場するために必要な価格を含む。このシステムは、そのユーザ端末から複数の第1のデータから選択された第2のデータ、第3のデータ、およびその決済を行うための口座を示す第4のデータの通知を受けると、第4のデータを用いて決済を行う。その決済終了後に、このシステムは、第2のデータに含まれるその会場への入場日時に、ネットワークに接続可能なユーザ端末から第5のデータの通知を受けると、第5のデータと第3のデータが一致する場合、そのユーザ端末の所有者は第2のデータに含まれる会場データで示される会場に設置された入場ゲートの通過を許可する。

【選択図】 図1

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-183654
受付番号	50000763667
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年 6月20日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000004237
【住所又は居所】	東京都港区芝五丁目7番1号
【氏名又は名称】	日本電気株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100102864
【住所又は居所】	東京都品川区南大井6丁目24番10号 カドヤ 第10ビル6階 工藤国際特許事務所
【氏名又は名称】	工藤 実

【選任した代理人】

【識別番号】	100099553
【住所又は居所】	東京都品川区南大井6丁目24番10号 カドヤ 第10ビル6階 工藤国際特許事務所
【氏名又は名称】	大村 雅生

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区芝五丁目7番1号

氏 名 日本電気株式会社